

訂正とお詫び

『最新 保育士養成講座』第1巻「保育原理」に下記のような誤りがありました。ここに訂正し、ご迷惑をおかけいたしましたことを、お詫び申し上げます。

全国社会福祉協議会出版部

正誤表

該当頁：185 頁

第5章第1節3(3) 保育制度

誤	正
一方、地域型 施設 給付を受ける地域型保育事業として、	一方、地域型 保育 給付を受ける地域型保育事業として、

該当頁：196 頁

誤	正
このため、国は、幼児教育の無償化やその対象範囲について検討を重ね、 平成30 (2019)年5月に「子ども・子育て支援法」の一部を改正した「幼児教育・保育の無償化」が実現の運びとなった。	このため、国は、幼児教育の無償化やその対象範囲について検討を重ね、 令和元年 (2019)年5月に「子ども・子育て支援法」の一部を改正した「幼児教育・保育の無償化」が実現の運びとなった。

該当頁：230 頁

(5) 早期教育プログラムの展開 ①アメリカの早期能力開発

誤	正
保育の方法・内容についてみても、アメリカのゲゼル(Gesell,A.L. 1880～ 1861)が唱えた「レディネス理論」の影響が強く、読み書きをはじめとするあらゆる学習指導は、子どもの成熟を持って行うべきこととされていた。	保育の方法・内容についてみても、アメリカのゲゼル(Gesell,A.L. 1880～ 1961)が唱えた「レディネス理論」の影響が強く、読み書きをはじめとするあらゆる学習指導は、子どもの成熟を持って行うべきこととされていた。

該当頁：270 頁

(2) 養護・教育・子育て支援の機能を総合的に担う保育士

誤	正
園における遊びや生活のなかでの、豊かな経験により育まれた子どもの姿を小学校にわかりやすく伝える視点として、保育指針において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が10項目明示された(122 頁 、第4章の図4- 11)。	園における遊びや生活のなかでの、豊かな経験により育まれた子どもの姿を小学校にわかりやすく伝える視点として、保育指針において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が10項目明示された(123 頁 、第4章の図4- 10)。

該当頁：305 頁 項目索引

誤	正
ち 地域型施設給付 185	削除
ち 地域型保育給付 194, 201	ち 地域型保育給付 185 , 194, 201

(2) 少子社会の対策

誤	正																																				
<p>内閣府の調査（平成 22〔2010〕年）によると、少子社会の対策として、子育て中の保護者が期待している政策としては、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」「子育てにおける経済負担の軽減」「妊娠・出産の支援」「子育てのための安心・安全な環境整備」などが 5 割を超える（複数回答）（表 7-6）。</p>	<p>内閣府の調査（平成 22〔2010〕年）によると、少子社会の対策として、子育て中の保護者が期待している政策としては、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」「子育てにおける経済負担の軽減」「妊娠・出産の支援」「子育てのための安心・安全な環境整備」などが 5 割を超える（複数回答）（表 7-6）。</p>																																				
<p>表 7-6 の掲載なし。</p>	<table border="1"> <caption>表 7-6 子ども・子育て施策（少子化対策）への期待 (複数回答) (%)</caption> <thead> <tr> <th>期待する政策</th> <th>平成16年9月調査</th> <th>平成21年1月調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進</td> <td>51.1</td> <td>58.5</td> </tr> <tr> <td>子育てにおける経済的負担の軽減</td> <td>50.5</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>妊娠・出産の支援</td> <td>27</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>子育てのための安心、安全な環境整備</td> <td>41.7</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>地域における子育て支援</td> <td>30.7</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>生命の大切さ、家庭の役割についての理解促進</td> <td>33.3</td> <td>39.2</td> </tr> <tr> <td>若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進</td> <td>24.8</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>子どもの健康の支援</td> <td>17</td> <td>31.9</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>3.5</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.8</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：内閣府「平成22年版 子ども・子育て白書」2010年</p>	期待する政策	平成16年9月調査	平成21年1月調査	仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進	51.1	58.5	子育てにおける経済的負担の軽減	50.5	54.6	妊娠・出産の支援	27	54.6	子育てのための安心、安全な環境整備	41.7	51.9	地域における子育て支援	30.7	46	生命の大切さ、家庭の役割についての理解促進	33.3	39.2	若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進	24.8	32.1	子どもの健康の支援	17	31.9	特になし	3.5	1.8	わからない	3.8	1.5	その他	1	0.8
期待する政策	平成16年9月調査	平成21年1月調査																																			
仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進	51.1	58.5																																			
子育てにおける経済的負担の軽減	50.5	54.6																																			
妊娠・出産の支援	27	54.6																																			
子育てのための安心、安全な環境整備	41.7	51.9																																			
地域における子育て支援	30.7	46																																			
生命の大切さ、家庭の役割についての理解促進	33.3	39.2																																			
若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進	24.8	32.1																																			
子どもの健康の支援	17	31.9																																			
特になし	3.5	1.8																																			
わからない	3.8	1.5																																			
その他	1	0.8																																			

(2) 保育職の専門職化の鍵：保育士の力量向上

② 保育者の専門性

誤	正
<p>このような人間性という資質に加えて、保育士には専門的な知識と技術、さらにはそれらを活用する能力が必要である。保育士に望まれる専門的な知識と技術をまとめたものが、図 7-1 である。</p>	<p>このような人間性という資質に加えて、保育士には専門的な知識と技術、さらにはそれらを活用する能力が必要である。保育士に望まれる専門的な知識と技術をまとめたものが、図 7-1 である。</p>
<p>図 7-1 の掲載なし</p>	<table border="1"> <caption>図 7-1 保育士に望まれる専門性</caption> <div style="text-align: center;"> <p>成長力 (反省・内省・評価)</p> <p>洞察力・判断力</p> <p>実践構成力</p> <p>子ども理解力</p> <p>専門基礎力</p> <p>一般基礎力</p> </div> <p style="font-size: small;">出典：北野幸子・角尾和子・荒木菜乃編著「遊び・生活・学びを地う教育保育の方法と技術」北大路書房、2009年、3頁</p> </table>